

服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください。
また必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

冷えや疲れからくる、つらい
排尿痛、頻尿、残尿感に
五淋散エキス錠N「コタロー」

商品番号

A039

ちょっとしたかぜや、からだ（特に下半身）が冷えたり、疲れたとき、あるいは排尿を長時間我慢したことが引き金となって、昼夜を問わずトイレが近くなり、そのたびに耐えられない排尿痛があり、尿の色が濃い又は濁っている、といったことが起こることがあります。

一般に女性に多いものですが、専門的な治療を受けてよくなっても、患部に不快感や残尿感がのこっていたり、すぐまた再発する場合も少なくありません。

五淋散エキス錠N「コタロー」は、このような泌尿器の炎症による症状をとるのに用いられる漢方薬です。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)胃腸が弱く下痢しやすい人。
- (4)高齢者。
- (5)次の症状のある人。

むくみ

- (6)次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能・効果】

体力中等度のものの次の諸症：
排尿痛、頻尿、残尿感、尿のにごり

(裏面につづく)

【用法・用量】

食前又は食間に服用してください。
食間とは……食後2～3時間を指します。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	5錠	3回
15歳未満7歳以上	4錠	
7歳未満5歳以上	3錠	
5歳未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

【成分・分量】

成分・分量（本剤15錠中）		
ブクリョウ……………3.0g	シャクヤク……………1.0g	モクツウ……………1.5g
トウキ……………1.5g	サンシシ……………1.0g	カッセキ……………1.5g
オウゴン……………1.5g	ジオウ……………1.5g	シャゼンシ……………1.5g
カンゾウ……………1.5g	タクシャ……………1.5g	
より抽出したエキス散3.36gを含有しています。		

添加物としてカルメロースカルシウム、含水二酸化ケイ素、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、乳糖水和物を含有しています。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)ぬれた手や湿気を帯びた手で取り扱わないでください。水分は錠剤の色や形が変わる原因になります。
- (5)瓶のフタのしめ方が不十分な場合、湿気等の影響で錠剤の品質が変わることがありますので、服用のつどフタをよくしめてください。
- (6)瓶の中の詰め物は、フタをあけた後はすててください。
(詰め物は、輸送中に錠剤が破損することを防ぐためのものですので、再使用されると異物の混入や湿気により品質が変わる原因になることがあります)
- (7)使用期限を過ぎた商品は服用しないでください。
- (8)箱と瓶の「開封年月日」記入欄に、瓶を開封した日付を記入してください。



湿気注意


毎日の生活で気をつけたいこと

- 水分を十分に補給する。
- 患部はいつも清潔にする。
- トイレを我慢しない。
- 過労を避け、からだを冷やさない。
- 辛いものや刺激物（アルコール、コーヒーなど）を避ける。

本剤は生薬を原料としていますので、商品により多少色が異なることがありますが、品質・効果に変わりはありません。

商品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願い申し上げます。
小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部 お客様相談室
大阪市北区中津2丁目5番23号 TEL06(6371)9106
受付時間 9:00～17:30(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
フリーダイヤル0120(149)931

製造販売元 漢方をよりよく より多くの人に
 **小太郎漢方製薬株式会社**
〒531-0071 大阪市北区中津2丁目5番23号
TEL 06 (6371) 9106